



平成28年度

あいづしんくみ ニュース 第3号

■発行日/平成28年10月15日

■発行/会津商工信用組合

〒965-0037 会津若松市中央一丁目1-30

TEL0242-22-6565 FAX0242-22-1708

<http://www.aizushinkumi.co.jp/>

会津の地域情報満載!

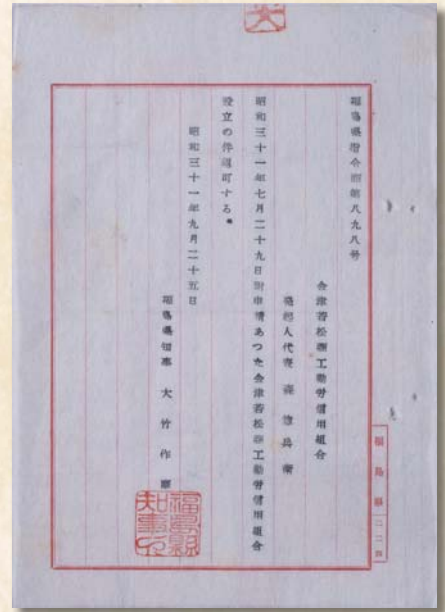
あいづしんくみFacebookページ



おかげさまで60周年 60th anniversary



本店営業部(昭和50年)



「会津若松商工勤労信用組合」
設立認可書(昭和31年)
(昭和33年5月「会津商工信用組合」に
名称変更)



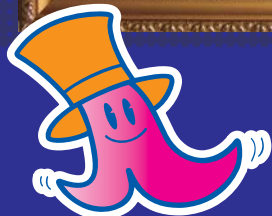
設立当時の定款(昭和31年)



創立30周年記念式典の風景(昭和61年)

おかげさまで会津商工信用組合は創立60周年を迎えることとなりました。これも偏に組合員、お取引先を始め地域の皆様方の永年に亘るご支援、ご協力の賜物と改めて深く感謝申し上げる次第でございます。

地域金融機関として果たすべき役割と責任、使命を強く認識し、これまで以上に貢献できるよう役職員一丸となり邁進して参りますので、今後共ご支援、ご高配を賜りますようお願い申し上げます。



～発行にあたって～

皆様には、日頃より"あいづしんくみ"に対しまして格別のご愛顧お引き立てを賜り厚く御礼申し上げます。

このたび会津地域の現状とそれに対する当組合の取組み等について、分かりやすく平成28年度「あいづしんくみニュース」として取り纏めましたので、ご覧いただき当組合をより身近に感じて頂ければ幸いです。

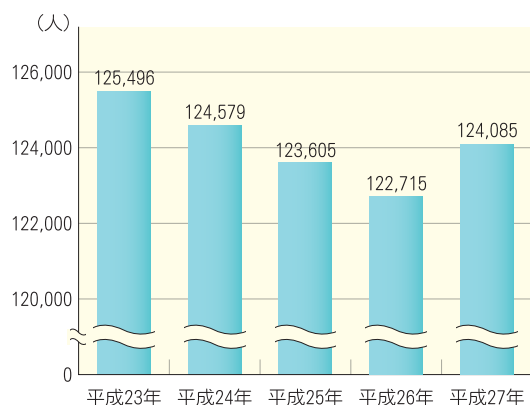
平成28年10月 会津商工信用組合

理事長 酒井幸一

一目でわかる会津地方の統計

人口の推移

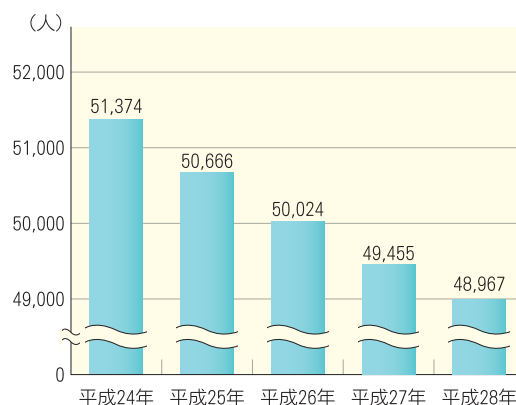
●会津若松市の人口 (各年10月1日現在)



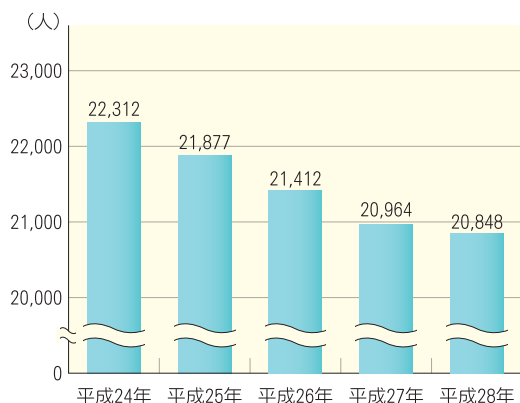
※平成27年の人口は国勢調査の速報値に基づく。

※【参考】平成27年10月1日現在、大熊町の会津若松市への避難者数は1,525人。

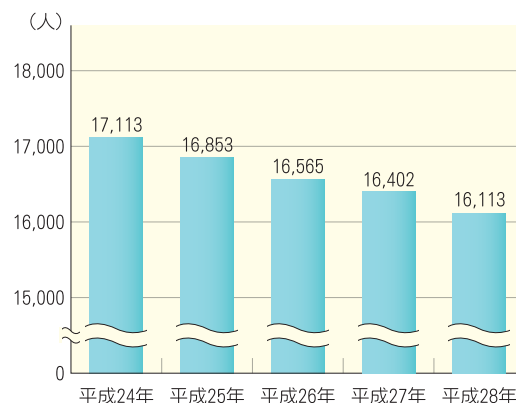
●喜多方市の人口 (各年4月1日現在)



●会津美里町の人口 (各年3月1日現在)



●会津坂下町の人口 (各年3月1日現在)



現状と今後の対応策

東日本大震災より5年が経過しましたが、いまだ福島第一原発事故による風評被害は収まらず、又、人口減少の問題は年々深刻さを増しております。

そんな中、国が進める経済の好循環を持続的な成長を各線に結びつけるべく「日本再興戦略2016」が策定されましたので、各市町村は今後、人口減少対策も含め、地域経済の活性化に向け更に取組むこととなります。

※人口データは、各市町ホームページ等を参照しております。

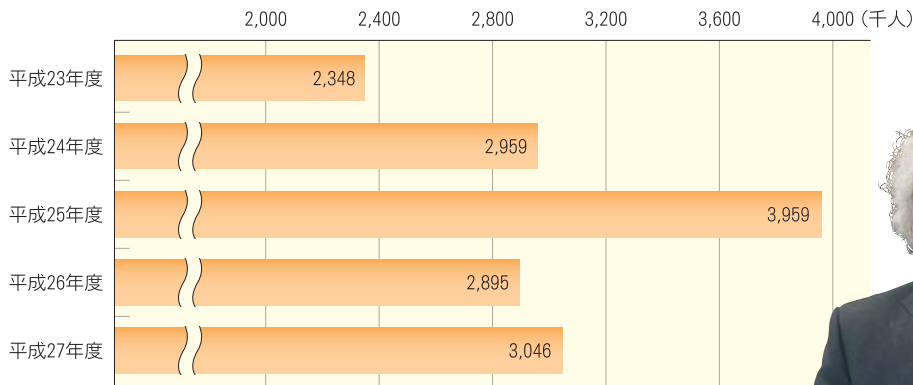


一目でわかる会津地方の主な産業の状況

※インタビュー記事は平成28年6月現在のものです。

観光業（会津若松市）

●会津若松市の観光客入込数



会津若松観光ビューロー
理事長 渋川 恵男氏

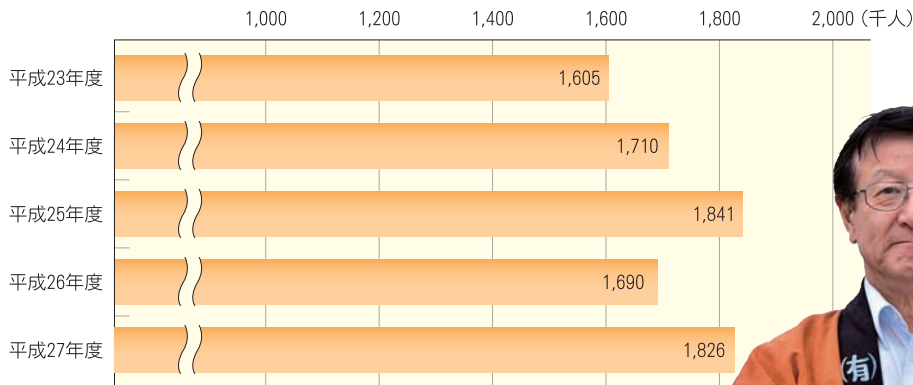
現状と今後の見通し

平成28年6月末で終了した、ふくしまDestinyキャンペーン(DC)効果により観光客は微増してきましたが、目先の入込数にとらわれず、七日町通りのような地域努力・アイデア・地域の盛り上がりによる積み重ねでの観光客増加が本来の観光地のあり方だと考え、DCの本当の価値は今後、会津観光の素材をどう活かすかであり、それらが恒常的な観光客増加につながると考えています。

東武鉄道が平成29年春、浅草駅と田島駅間を乗り換えなしで結ぶ新型特急の導入を決定したことから、東京五輪を控え増加が見込まれるインバウンドの受入体制の整備が必要であり、現在、その起爆剤となるイベントも検討しています。また、会津観光に女性の感性を取り入れるべく、多種多様の職業の女性による『訪れたい会津若松』ウーマンズ会議を開き、女性目線での「おもてなし」や今後の観光振興に繋げるアイデアを出し合っていたいただき、具現化していく予定です。

観光業（喜多方市）

●喜多方市の観光客入込数



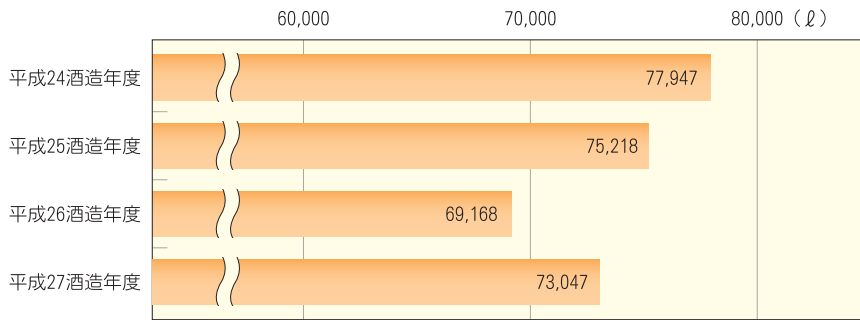
喜多方観光物産協会
会長 冠木 紳一郎氏

現状と今後の見通し

東日本大震災から5年が経過し、観光振興に向けた各種取組みによって、平成27年度の観光客の入込数は震災前の水準まで回復しているものの、教育旅行や宿泊を伴う旅行者数の増加が伸び悩んでおり、依然として福島第一原発事故による風評被害が著しいと感じております。「蔵とラーメンのまち喜多方」として全国的な知名度はあるものの、それら以外の製品の知名度は依然として低く、売れる“ものづくり”の促進と併せて、喜多方の全国的知名度の高さを活かしたPR活動として、喜多方市の魅力や現状を伝いつつ、喜多方産品に触れていただき、味わえる機会を設けることが、風評の払拭と産品の知名度向上・販路拡大、さらには観光誘客につながるものと捉え、首都圏での「喜多方ふるさと観光物産展」の開催等、各種物産展や商談会への出展機会の提供を行って参ります。

一方、新しい魅力「花でもてなす喜多方」は、「しだれ桜」「ひめさゆり」「ひまわり」等、美しい花で観光誘客ができるよう育ってきました。「世界一の日本酒」「甲斐本家の蔵座敷」と相まって、喜多方の魅力を十分に情報発信できる環境が整った今、次に「これらの喜多方の宝を有機的に組み込んで、観光客にどうやったらお金を使ってもらえるか」という、第二のステージに足を踏み入れた実感があります。大きな宿泊施設を持たない喜多方にとって「宝をどう使って経営する仕組み作り」を、今後の大きな課題として取り組んで参ります。

●課税移出量(出荷量)



現状と今後の見通し

福島県は平成27酒造年度の全国新酒鑑評会において、金賞受賞数全国最多(実質会津が日本一)となり、4連覇を達成いたしました。この4連覇は偶然ではなく、会津の蔵元の日々の努力の積み重ねが成し得たものであると考えており、以前より日本酒は「人気の新潟、実力の福島」と言われておりましたが、いよいよ福島の本酒の良さが芽を出し、人気も兼ね備え、名実ともに日本一となったものと実感しております。

会津の本酒は人気銘柄も然ることながら普通酒も含め全体的に出荷量がようやく増加に転ずるようになり、今後もこの傾向が続くものと思われませんが、酒造りの技術は日進月歩であることから、今後も油断することなく更なる品質の向上・技術の積み重ねの努力を継続しなければならないと考えております。

尚、全国新酒鑑評会発表当日、5月18日は私が新理事長に就任した日でもあり、蔵元として運命的なものを感じ、今後も365日研鑽を積みば5連覇も夢ではないと考えております。

今後は、県が県産日本酒の販売会や試飲会を開く等、売上増加に向けた取組みに力を入れて下さっていることから有効活用させていただきたいと思っております。しかしながらイベントを最終目的とせず、このムードを崩すことなく会津の本酒の更なる出荷量の増加につながる活動を継続的に取り組んで参ります。



会津若松酒造協同組合
理事長 松本健男氏

現状と今後の見通し

会津若松市における住宅新築・リフォームについては、消費税増税を懸念していたことから、駆け込み需要が増加傾向にあります。特に若い世代の新築・二世帯家族の建て替え・リフォーム需要が高まってきており、また、分譲地についても早い段階で完売する状況であります。

今後の見通しといたしましては、消費税増税が2019年10月に延期されたことから、しばらくこの状況が続くと考えております。

反面、高齢の方のリフォームについては、年金受給額が減少していることから最小限の改修に留める傾向にあり、当組合としては、大手ハウスメーカー等では取り組まないきめ細かくて堅実な対応が地域工務店の強みであると認識しております。

会津若松市建築業組合は昨年に創立100周年となり、101周年となる今年度もこれまでに引き続き、当組合の2大事業であります年2回の植樹ボランティアによる森林整備事業を継続するとともに、時代にマッチした優れた木造住宅を建築すべく努力している事業所を表彰する住宅コンクール事業を継続して参ります。



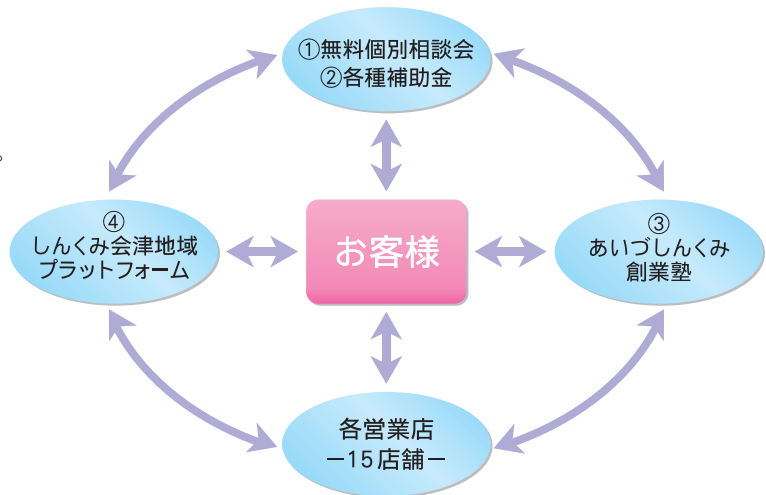
会津若松市建築業組合
組合長 荒明長吉氏

*各統計データは、会津若松市ホームページ、又は各団体からの資料を参照しております。

あいづしんくみにおける経営支援の取組み

当組合では、営業店と本部(担当部署：地域成長支援部)が一体となって会津地域の事業所を支援するため、以下の取組みを行っております。

- 販路拡大・売上増加の支援
- 起業・創業の支援
- 経営支援
- 各種補助金の活用アドバイス



①無料個別相談会

当組合では、ほぼ毎月、無料の個別相談会を開催しております。お気軽に最寄りの店舗までお申込み下さい。

(1) 各種補助金活用等個別相談会

起業・創業を目指している方、新しいアイデアを商品化したい方、新しい事業をお考えの方、各種補助金を活用したい方等、お客様のニーズに合わせて外部専門家や専門機関と連携のうえ、最適なソリューションを提案します。



(2) 経営まるまる個別相談会

経営内容及び財務内容の改善に取り組もうと考えている事業者の方や毎月の返済額が多額でお困りの事業者の方、その他経営や財務に関することでお悩みの事業者の方々に外部専門家を交え経営支援の取組みについてアドバイスを実施します。



②各種補助金

当組合は国の「認定支援機関」として創業補助金など積極的な取扱いを行い、会津地域の活性化に貢献しております。採択された実績については下記の通りです。

●創業補助金採択件数

平成24年度補正	1回2次	3件
平成24年度補正	2回1次	3件
平成24年度補正	2回2次	5件
平成24年度補正	3回1次	7件
平成24年度補正	3回2次	3件
平成25年度補正	先行受付分	4件
平成25年度補正	最終審査分	1件
平成26年度補正		5件
平成27年度		2件
合計		33件

●「創業補助金」認定支援機関

金融機関別採択件数 (東北6県) 平成27年度分まで

- 第1位 七十七銀行 62件
- 第2位 会津商工信用組合 33件
- 第3位 岩手銀行 29件
- 第4位 北都銀行 28件
- 第5位 東邦銀行 27件
- 第6位 秋田銀行 18件

●主な創業補助金採択の内容

- 専門的エンジニアによる農山村での地域密着機械修理業の展開
- 会津の農産物をより市場の求める付加価値を付けた生産、加工、販売できる仕組みを創り上げる事業
- 会津の伝統食材を活かしたベーグル文化の発信と専門店事業の展開
- うちごはんカフェとメイド・イン・ジャパンにこだわった複合型ショップの運営
- 生活弱者に陥りやすい高齢者に向けた安心安全なライフラインの提供事業

③あいづしんくみ創業塾

当組合では、平成25年度から「あいづしんくみ創業塾」を開催しております。(平成27年度まで計5回開催、受講生67名(うち女性29名))

受講者で創業予定者に対し、事業計画策定から開業までをワンストップで支援するとともに、国や県の創業補助金等の活用、会津管内のビジネスネットワークへの参加等、創業から安定期まで長期的なサポートを実施しています。

なお、「あいづしんくみ創業塾」は、国の産業競争力強化法に基づく創業支援事業計画認定市町村の特定創業支援事業になっております。

【連携している市町村】

会津若松市・喜多方市・西会津町・猪苗代町・会津坂下町・湯川村・会津美里町



受講対象者

- これから会津地域で起業・創業を考えている方
- 企業退職後の起業、女性の視点での起業、農業法人設立を考えている方
- 飲食店、美容室、雑貨屋、ITビジネス、農業ビジネス、介護ビジネスなど

カリキュラム(全6回)

- 1回目「何故、今、始めたいのか？」
- 2回目「何を、誰に、どこで、提供していくのか」
- 3回目「事業を永く継続していくために大切なこと」
- 4回目「お金に嫌われないために」
- 5回目「営業方法とIT活用」
- 6回目「プレゼンテーション」

④しんくみ会津地域プラットフォーム

当組合では、会津地域の事業者の方々が抱える様々な経営課題解決のために同プラットフォームの代表機関として、他の構成機関と共に専門家派遣事業に取り組んでおります。

専門家派遣事業は年3回まで無料で実施することが可能です。

しんくみ会津地域プラットフォーム

代表機関／会津商工信用組合
 構成機関／会津若松商工会議所、会津喜多方商工会議所、会津坂下町商工会、会津美里町商工会、西会津町商工会、湯川村商工会
 鈴木義文(税理士)、鈴木憲司(税理士)、結城幸次(中小企業診断士)

派遣する主な専門家の得意分野

- ① 結城幸次 ～中小企業診断士、経営全般のアドバイス～
- ② 山口康雄 ～経営士、ITコーディネーター、HP作成等のアドバイス～
- ③ 鈴木義文 ～税理士、税務全般のアドバイス～
- ④ 鈴木憲司 ～税理士、税務全般のアドバイス～
- ⑤ 小柳剛照 ～飲食店経営、メニュー作成等のアドバイス～
- ⑥ 重巢敦子 ～カラーコーディネーター、店舗や制服等の色使いのアドバイス～
- ⑦ 浅川三喜子 ～社会保険労務士、雇用や給与計算等～
- ⑧ 旗野恵子 ～店舗の設計等、総合的なアドバイス～



会津地域活性化事業の取り組み

あいづしんくみ ボランティアガイド等派遣

会津地域へのインバウンド（訪日外国人）受入支援として、会津地方創生支援事業「あいづしんくみボランティアガイド等派遣」事業を行っています。

この事業は、外国語会話能力の高い職員を会津地域の様々な要請に無料で派遣する事業です。主な対応言語は、「英語」「中国語」「インドネシア語」です。

事業内容等については、以下の通りです。

詳細等については、当組合業務部までお問い合わせ下さい。

【事業内容】

- 外国人旅行者の簡単な通訳ガイド
- 外国人の事業所訪問時のお手伝い
- 外国人観光客の受入時の対応補助

【対応言語】

- 英語・中国語・インドネシア語

【派遣料】

- 無料

【主な派遣先】

- 地方公共団体
- 各商工会議所・商工会
- 観光関連施設（道の駅、旅館等）
- 取引先事業所（視察団、工場見学等）



ボランティアガイドメンバー

会津地方創生支援事業
＜会津地域へのインバウンド（訪日外国人）受入支援＞

①外国人旅行者の簡単な通訳ガイド

②外国人の事業所訪問時のお手伝い

③外国人観光客の受入時の対応補助

**あいづしんくみ
ボランティアガイド等派遣**

観光ガイド、通訳など日常的な英語・中国語・インドネシア語ができる職員を無料で派遣！

派遣料は
無料

主な派遣先

- ① 公的インバウンド受入事業所等
- ② 取引先事業所（会社・工場見学等）
- ③ 観光関連施設（道の駅等）

※ 等

主な対応言語

英語・中国語・インドネシア語など

（お申込・お問い合わせ先）
ボランティアガイドの派遣申請は、裏面に記載の上、下記までFAXにてお申込ください。
会津商工信用組合 業務部 FAX：0242-32-3188

あいづしんくみ



復興庁では被災3県へ、インバウンド（訪日外国人）を誘客する事業を展開しており、平成28年3月12日、先導モデル事業の第1号となるお客様が来訪され、当組合のボランティアガイド3名も同行しました。

復興庁支援金融機関である当組合では、七日町支店前で歓迎セレモニーを開催し、七日町通りまちなみ協議会会長渋川恵男氏が「温かいおもてなしの心でお迎えしたい」と挨拶され、「会津塗の夫婦箸」と「会津絵ろうそく」を記念品として贈呈いたしました。

また、あいづしんくみ芸能部による「歓迎の獅子舞」が披露されました。

フィンテックの活用

購入型クラウドファンディング



クラウドファンディングとは…

(イメージ～ふるさと納税)

インターネットを介して、寄付・購入などの形態で、個人から少額の資金を調達する仕組みです。

- ①対象事業所：起業する方・新商品の販売・イベント事業など
- ②活用する目的：販路拡大・事業のPR・資金調達
- ③専用Webサイト：伊藤忠商事が運営する「MOTTAINAI (オンラインショッピング等サイト)」のサイトの中に「MOTTAINAI もっと (信用組合専用購入型クラウドファンディングサイト)」があります。
- ④プロモーション：毎日新聞社も加わり、全国にプロジェクトを発信します。

スキーム



プロジェクトの応援は…

MOTTAINAI もっと

※専用Webサイトの立ち上げは、2016年10月を予定しております。

『購入型クラウドファンディング』プロジェクトのご紹介

『復興への足掛け！新しい名産品を全国へプロジェクト！』

プロジェクトオーナー：ホームベーカリーコピヤマ
【協力：高橋庄作酒造店(会津娘)・有限会社白虎食品】

このプロジェクトについて

復興に向けた新たな商品として、会津の銘酒「会津娘」と、会津の特産物である皇室献上品として知られる「会津身不知柿」のドライフルーツをふだんに使った新たなシュトーレン「会津が香るシュトーレン」を会津から全国へ広めたいと思い企画しました。

小泉進次郎氏にもご注目頂いております。

この商品は会津のパン屋『ホームベーカリーコピヤマ』、造り酒屋『高橋庄作酒造店』、食品会社『有限会社白虎食品』の三社のビジネスマッチングで生まれた商品です。

ドライフルーツを地酒で漬け会津の特産物でもある会津身不知柿のドライフルーツ、ナッツ類がふだんに贅沢に練りこまれ焼き上げられた極上の洋菓子です。これらの材料を使って作っているため他にはないオンリーワンの商品です。

皆様のご協力、ご協賛をお願い申し上げます。



会津が香るシュトーレン



2016年8月6日
小泉進次郎氏にご来店
いただきました！
(小泉進次郎氏とホーム
ベーカリーコピヤマ
小松山和馬氏)



リターン商品のイメージ



『喜多方ラーメンを世界に売り込め! 口麺チスト達の挑戦』

プロジェクトオーナー:会津喜多方グローバル倶楽部



会津喜多方グローバル倶楽部のメンバー
左から、五十嵐幸介氏(㈱五十嵐製麺)、
星龍弥氏(星醸造㈱)、松崎健太郎氏
(㈱おくや『同倶楽部会長』)、山田貴司
氏(ヤマダソリューション)、
岩田悠二郎氏(笹正宗酒造㈱)



このプロジェクトについて

会津喜多方グローバル倶楽部 会長の松崎健太郎です。私達の住む福島県喜多方市は、風光明媚な田園都市です。『蔵とラーメンのまち』として年間約180万人の観光客が訪れる街であり、特に喜多方ラーメンは日本三大ラーメンと言われています。私達の住む喜多方は、まだまだ沢山の魅力があります。喜多方を広くPRするには、喜多方ラーメンと言うコンテンツを最大限に活用し情報を発信していきたいと考えています。そんな喜多方を愛する5人組で会津喜多方グローバル倶楽部を平成26年度に結成しました。

倶楽部の構成員は様々で、製菓業、醸造業、酒造業、製麺業、農業の経営者で構成されているため、商品を開発する際も色々なコラボができるため生産から販売までの事業展開を行っており、現在は、喜多方ラーメンを海外向けに開発しタイに喜多方ラーメンを輸出しています。目指すは、全世界90カ国に喜多方ラーメンを広め国内外より多くのお客様を喜多方に来ていただくことを目的に日々活動を行っています。

今回のプロジェクトでは、世界各国には様々は規制もあることから、その国々で対応できる『喜多方ラーメン』を開発し売り込みを行いたいと思います。最終的には、喜多方への誘客に繋がる取組みも併せて行います。そのため、今回の資金で喜多方ラーメンの開発、販売活動などに充たいたします。

今、喜多方をこよなく愛する“口麺チスト(ろめんちすと)”達の熱い戦いが始まりますので応援お願いいたします。



リターン商品のイメージ

使う・育てる・直す、世代を超えて引き継ぐ会津漆器『めぐる』

プロジェクトオーナー:漆とロック株式会社(旧社名:明天)

このプロジェクトについて

会津漆器の新ブランド『めぐる』は、会津の腕利きの4軒の工房と伝統工芸を盛り上げるベンチャー企業「漆とロック株式会社」により、昨年の7月に立ち上がりました。

メインの「日月」「水平」の2種類のお椀は、漆器本来の心地よい肌触りや口当たり、そして抱き上げたくなる優しいかたちを追求した三つ組の器です。

この器のデザインには、暗闇のエンターテインメント「ダイアログ・イン・ザ・ダーク」で活躍する全盲の女性たちが参加しています。目を使わず生きる彼女たちは、手先や唇の繊細な感覚を持つ“感性のスペシャリスト”。彼女たちのアドバイスをもとに、会津の職人たちが材料と製法にこだわって、上質な漆器に仕上げました。

現在、会津の漆器産業は最盛期の1/7まで落ち込んでいます。原料の漆も国内生産はわずか2%に落ち込んでいます。そのような状況を打破するため、『めぐる』の売上の一部は会津産の漆の保護・育成事業に寄付されます。将来そこから採られた漆で器のお直しをお受けします。その仕事は会津漆器産地の若手職人の将来の仕事づくりに繋がっていきます。作り手も、使い手も、素材も、世代を超えて巡りゆく器です。

めぐるは「2015年度グッドデザイン賞」「2015年度ウッドデザイン賞・審査員長賞」を受賞しました。

【めぐる公式ウェブサイト】 <http://meguru-urushi.com/>



“特別な感性”から生まれた漆器



リターン商品の一例

【水平(すいへい)】【日月(にちげつ)】



漆とロック株式会社 代表取締役 貝沼 航氏

『会津ハーブカレッジ』創る、育てる、ハーブでつなぐ 農家のお嫁さん仲間作りプロジェクト

プロジェクトオーナー:ごねい農園株式会社



リターン商品のイメージ

このプロジェクトについて

横浜から西会津町に移住し、しいたけを中心にしたきのこ栽培を行っている「ごねい農園」と申します。

農家のお嫁さん達は、農繁期はもちろん忙しいですが、それ以外の時期は余裕な時間があります。ですが、期間限定パートの仕事がある訳でもなく不安もあります。又、遊休農地も多くあります。

このプロジェクトは、そんな農家のお嫁さん達に遊休農地でハーブや希少多品目少量生産の農産物などを生産してもらい、みんなで集り、それらを発送するビジネスの場・コミュニティの場を作る事が出来れば、地域の活性化や収入の増加につながり、抱いていた不安も解消できるものと考えております。

農家のお嫁さんにハーブを生産してもらうための種苗や肥料の購入費、パッケージ代、購入者向けのお茶会を開催するためのパーゴラ製作費用が必要です。自分たちだけの情報発信には限界があり、クラウドファンディングを通じて広く販路拡大を目指し、産地化を加速させたいと考えております。

皆様のご協力をお願いいたします。



ごねい農園株式会社
代表取締役 五寧 陽平氏

フィンテックの活用 その2

会津地方創生支援事業

簡単導入
低い決済手数料

クレジットカード 復興庁
決済サービス「コイニー」のご案内

平成26年9月から、復興庁は「新しい東北・先導モデル事業」として、スマートフォン・タブレット端末などを利用した簡単かつ低い決済手数料のクレジットカード決済サービス「コイニー」を会津地域へ導入することで、観光客の消費を促し、会津地域経済の活性化を目指す取り組みを実施しており、当組合は本事業の「支援金融機関」として会津地域の事業所に導入を推進し、平成28年3月末までに126事業所が導入しました。

尚、現在も取扱いをしておりますので、クレジットカード決済サービスの導入をご検討している事業所の皆様は、当組合最寄りの各営業店までお問い合わせください。



Coiney

コイニーの特色

月額費用

0円



◀「コイニー」公式サイトへ

決済手数料

VISA MasterCard SAISON CARD INTERNATIONAL 3.24%

JCB Diners Club DISCOVER 3.74%

8月1日以降に追加ブランド申込をいただいたお客様におきましては、変更後の決済手数料率が適用されます。
※ご契約形態によって利用可能なブランドが異なります。

スマートフォン・タブレット端末があれば、
いつでも、どこでも決済可能!!





平成28年5月28日(土)、会津若松ワシントンホテルにて、『婚活パーティーinあいづ』を開催しました。

「結婚・出産・子育て支援」は会津若松市の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の5つの柱の1つとなっており、「会津地方創生事業」に取り組んでいる当組合としても「少子化・高齢化・人口減少」問題を地域金融機関の課題の1つとして受け止め、婚姻率の低下・晩婚化に歯止めをかけ地域活性化に繋げるため、創立60周年記念事業の一環として企画しました。

参加者の募集にあたっては「会津地域在住または在住予定で25歳から50歳くらいまでの独身男女」の参加者の募集を行いました。



当日のパーティーには男性33名(20歳代～50歳代、平均年齢39歳)、女性33名(20歳代～40歳代、平均年齢34歳)が参加し、3分間の自己紹介を全員の異性との間で行う「回転トーク」をはじめ、「クイズ」「ビンゴゲーム」「フリートーク」で親睦を深めました。

結果、13組がみごとカップリングし、男性から女性に花束を贈り、現在の心境を告白するなど大いに盛り上がりました。

ご参加いただいた皆様、ありがとうございました。

あいづしんくみ藩公祭市



東日本大震災による原発事故の被害に苦しむ会津地域経済の復興を支援する目的で、会津まつりの「藩公行列」当日に、当組合本店駐車場を開放し、観光客や地元客に会津の名産品をPR・販売する『藩公祭市』を毎年開催しており、当組合が取り組んでいる「会津地方創生支援事業」の一環として、4回目を開催いたしました。

今年も約4,000人を超える来場者が会津地域のグルメや工芸品などの魅力に触れ、その場で購入できる会津まつり恒例の一大イベントとして定着しております。

来年も開催を予定しておりますので、『あいづしんくみ藩公祭市』へ出店希望の事業所の方は当組合最寄りの各営業部店へお申し込みください。

毎月25日は会津清酒の日。

一 季節を感じ楽しく飲むべし

酒造りとは、「良い米」「良い水」「適した気候条件」。四方を山々に囲まれた会津盆地は、肥沃な大地から良質の米を、豊かな森が清い水を湧き出させ、酒造りに最も恵まれた土地。夏暑く、冬は寒さ厳しい四季の変化があつてこそ、会津清酒は生まれます。移ろい行く季節に感謝し堪能あれ。



二 美酒と美食は相対なり美し人と楽しむべし



会津を代表する酒肴(郷土料理)は、先人たちの海への憧れが、海産物の干物の調理法を発達させたもの。その代表として、「ニシンの山椒漬け」や「棒タラ」などがある。おいしい酒を飲むには、おいしい料理はもちろんだが一番は誰と飲むかである。

※美し人：心根の清い人

三 深酔いせぬよう和らぎ水を用いるべし

上手に酔うコツは飲み方にあり。日本酒を飲みながら飲む水が「和らぎ水」。会津では、蔵元が酒造りに使用する良質の仕込み水を「和らぎ水」に用いるのが贅沢な飲み方とされています。楽しい会話に水を差すのは御法度ですが、快適な翌朝を迎えるためにも、酒宴の席ではわが身に水を！



四 蔵元の想いも酌むべし

会津の酒造りの起源は約四五〇年前の永祿年間。改良を重ねつつも長年守り継がれてきた伝統の技と、頑ななまでのこだわりを持つ会津人気質が融合し、会津の名酒は醸造されました。わずかな時で消費される酒にも、長い歴史と多くの手間がかかっていることをぜひ心に留めて楽しみましょう。



五 酒の力を侮ることなかれ

全国各地に酒豪は数々あれど。なんととっても飲兵衛といえは、民謡「会津磐梯山」にも登場する「小原庄助さんではないでしょうか？」朝寝朝酒朝湯が大好きでそれで身上をつぶした、ああもつともだあ、もつともだあ、と、酒と道楽で身上をつぶし、周囲から後ろ指をさされないよう、行き過ぎた飲み方だけは慎んで。



会津清酒を 楽しむ 作法五ヶ条

福島県地域づくり総合支援事業
会津清酒消費拡大推進協議会